

行政事業レビューシート (法務省)						
予算事業名	PFI刑務所の運営		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	矯正局		担当課室	総務課	西 田 博	
会計区分	一般会計		上位政策	矯正施設の適正な運営に必要な民間開放の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律		関係する計画、通知等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	刑事施設の過剰収容と職員の過重負担の緩和を目指し、新たな刑事施設の整備をする必要が生じたため、行政コスト削減や国民に開かれた刑事施設の運営を目指し、PFI手法を活用した官民協働による刑事施設の運営を行うことを目的としている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	施設の設計・建設・維持管理及び被収容者の処遇に係る事業について、PFI手法を活用し、美祢社会復帰促進センター(平成19年4月運営開始、事業期間20年)、島根あさひ社会復帰促進センター(平成20年10月運営開始、事業期間20年)を整備した。 また、国費をもって刑事施設の設計・建設を行った上、建設後の施設の維持管理及び被収容者の処遇に係る事業について、PFI手法を活用し、喜連川社会復帰促進センター、播磨社会復帰促進センター(いずれも平成19年10月運営開始、事業期間15年)の運営を開始した。 なお、国庫債務負担行為で長期契約を実施している。					
実施状況	平成19年4月の美祢社会復帰促進センター運営開始を皮切りに、島根あさひ社会復帰促進センター、喜連川社会復帰促進センター、播磨社会復帰促進センターにおいて、PFI手法による刑事施設の運営が開始され、平成21年度には、2,752人が新たに収容されている。いずれの施設においても、国の職員定員を可能な限り抑制している一方、民間のノウハウを活用しながら、特色ある職業訓練及び教育プログラムなどを企画・実施している。 これらのPFI刑事施設の運営に当たっては、国が当該事業の要求水準を定め、契約した事業者が要求水準の内容を満たしているか否かにつき、定期又は随時にモニタリング(監視)して履行状況の確認を行い、提供するサービスの質が低下しない仕組みとしている。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	4,349	8,504	10,474	10,474	10,912
	執行額	4,349	8,504	10,474		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	4,349	8,504	10,474		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	美祢社会復帰促進センター等のPFI刑事施設においては、契約した事業者が国が定める要求水準を確実に遂行しているか、毎月、国の職員が事業を点検するモニタリングを実施している。 モニタリングの結果、業務の遂行が要求水準を満たしていない場合には、事業費の減額を行うとともに、民間事業者に対し改善勧告を行うこととしている。これにより、長期間にわたる質の高いサービスの提供を担保している。				
	見直しの余地	刑事施設のPFI事業においては、民間企業のノウハウを積極的に取り入れ、最新の警備システムを導入した警備体制を構築しているほか、受刑者の再犯防止に資する教育、就労に結びつく職業訓練など、効率的・効果的な事業運営がなされ、国が行っている施設運営と異なる事業を展開しており、官民それぞれに有益な影響を及ぼしていることから、今後も同事業を継続する。				
予算監視・所見率化	現状のまま					
補記						

法務省
10,474百万円

〔「構造改革特別区域法」を活用した
P F I 手法に基づく刑務所の運営等〕



A. 島根あさひソーシャル
サポート株式会社ほか
10,474百万円

〔「構造改革特別区域法」を
活用した P F I 手法に基づ
く刑務所の運営等〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

[illegible]

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.島根あさひソーシャルサポート株式会社			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	PFI手法に基づく刑務所の運営等	3,940			
計		3,940	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0